

コロナ禍での学校行事に地域が協力

コミュニティ・スクールに対応 青少年育成部会&おやじの会



大きなたき火を囲み ♪燃えろよ燃えろ～炎よ燃えろ～♪ と皆で斉唱する児童(ファイヤーストーム)

青少年育成部会（部会長 中森幸恵）とおやじの会（会長 細工正）は、10月31日（土）八本松小学校（校長 土肥美由紀）が行う5年生の野外活動授業「わくわくデイキャンプ」の実施に協力した。

八小5年「わくわくデイキャンプ」 野外活動授業 充実のために



宝物発見！！(20の宝をゲットせよ)

この野外活動は、親元を離れて行われる5年生（148人）の体験学習で、例年校外で宿泊して行われていたが、今年はコロナ感染症対応のため校内で日中行われることとなり、昼



おやじの会(ウクレレバンド「O.U.T」の皆さん)と踊の共演

この野外活動は、親元を離れて行われる5年生（148人）の体験学習で、例年校外で宿泊して行われていたが、今年はコロナ感染症対応のため校内で日中行われることとなり、昼



ポリ袋を利用した炊飯を学ぶ

また、ファイヤーストームでは、おやじの会の演奏に合わせた踊で私語禁止の中、友達同士思い切り楽しんでいった。昼食は、ポリ袋にお米を入れ湯煎し、青少年育成部会等により準備された具をかけてカレーを完成。災害時でもおいしく食事がいただけることを学んだ。



カレーの具づくり(青少年育成部会とPTA)

終了後、中森部会長は、「カレーを作る作業でもチームの支え合いがみられ大変良かった。今回のように、私たちにできることで、本年度後期から始まったコミュニティ・スクールに対応し、『地域とともにある学校づくり』に協力したいと考えています」と語っていた。

自治会部会
&協議会本部

花火大会 70連発で コロナ退散を

晩秋の夜空に気持ちのいい花火



撮影者 八本松中央地区 西原英実さん（写真は三つの花火を合わせたものです）

八本松住民自治協議会自治会部会と協議会本部は、11月3日（火）夜 八本松小学校、中央自治会、宗吉北自治会、八本松消防団などの協力を得て花火大会を行った。

この花火大会は、長引くコロナ感染症と闘われている住民の皆さんにエールを送るため、始めて企画されたもの。

このため、交通渋滞を防ぐ車の誘導、安全のため危険エリア内の立ち入り禁止、万一に備えた消防団の待機など万全の対策がとられ、打ち上げに備えた。



開始前に入念な打合せ 説明者は常光聡自治会部会副会長（中央）



大、中、小70発の花火を装着する花火業者

きな爆音とともに八本松小学校裏山から発射。大・中・小70発の花火が次々と打ち上げられ、晩秋の澄んだ夜空に鮮やかな色で放射線を描いた。

遠方からも花火が見られ、見事な写真が本部に送られてきた。（写真上）
これが、いつまでも続くコロナ不安の解消に少しでもつなげれば幸いです。

第17回こども将棋名人戦 今年も大接戦 房原くんが3連覇 コロナ禍で上級者の優勝決定戦のみ実施

青少年育成部会

青少年育成部会は、10月31日（土）八本松小学校図書室で「第17回こども将棋名人戦」を開催。今年はコロナ感染症対応のため、上級者3名による優勝決定戦のみ行われた。

対戦したのは、房原斗くん、乗松駿秀くん、苅谷伶くんの3名（いずれも6年生）で昨年の優勝決定戦と同じメンバー。3名による「こどもえ戦」で一回目は昨年と全く同じ相星となった。昨年は詰将棋で優勝者を決めたが、今年は2回目の「こどもえ戦」を行った。大接戦の末、房原くんが2勝を挙げ優勝をつかんだ。

房原くんは、4年生の時の初優勝から三連覇をなした。三人とも「今年はコロナ感染



対戦する房原くん（左）対乗松くん（右）
棋譜読上げは苅谷くん（中）

症のため対戦する機会が少なかった」と語り、今日、対戦できてうれしうだった。これで三人の絆も深まることだろう。